

# 愛鷹山麓産業廃棄物不法投棄事案に係る委託調査

## 1 概要

沼津市愛鷹山麓の産業廃棄物不法投棄現場における生活環境保全上の支障の有無を明らかにするため、平成20年度に委託による調査を行った。

更に、平成21年11月に設置した「愛鷹山麓産業廃棄物不法投棄支障評価・対策検討委員会」(以下、「検討委員会」)からの求めにより、追加調査を実施した。

## 2 調査結果概要

区 分	内 容	
測 量 (H20)	現場平面図、縦断図及び横断図等を作成。	
廃棄物の埋立状況 (H20、23)	<p>&lt;H20 調査&gt; (横ボーリング6箇所、掘削3箇所) プラスチック類、木くず、紙くず など。 最大深度26m、面積約3.6ha、埋立量約23万m<sup>3</sup>。 廃棄物の層厚14.7m~26.0m、廃棄物層と盛土(土砂)の互層構造。 土砂を含めた埋立量約53万m<sup>3</sup> ※ 医療系廃棄物、燃えがら、廃油及びびんさい等有害な廃棄物は確認されず。</p> <p>&lt;H23 調査&gt; (縦ボーリング1箇所) プラスチック類(48%)、木くず(30.1%)、紙くず(6.1%) など。 ボーリングコア全体の59.1%が廃棄物。 ※ 横ボーリング掘進中、部分的に可燃性ガスを確認したが硫化水素は確認されず。 ※ 医療系廃棄物、燃えがら、廃油及びびんさい等有害な廃棄物は確認されず。</p>	
廃棄物の有害性 (H20-22)	土壌 (H20)	埋立廃棄物は土壌環境基準を満足。ダイオキシンも検出されず。
	水質 (H20-23)	<p>地表水及び地下水の水質は基準値を満足。 ボーリング孔内水及び隣接の河川水についても、不法投棄に起因する汚染の可能性は低い。</p> <p>現場下流の水道水源(10地点)の水質は基準値を満足。(沼津市調査) 横ボーリング孔から採取した保有水及び現場南側に位置するボーリング孔から採取した保有水は、いずれも排水基準を満足。</p>
	ガス・地温 (H20-21)	<p>硫化水素、可燃性ガス(メタン等)、一酸化炭素等の発生を確認。 硫化水素は短時間で中毒等を引き起こす濃度でない。 廃棄物燃焼の可能性は低い。</p>
水位観測 (H22-23)	現場南側に位置するボーリング孔1箇所において水位変動が激しい。	
地盤の変位 (H22-23)	変位板 (クラック)	地すべりの兆候となるような明瞭な動きは認められない。
	移動杭	現場南側の移動杭において、継続的に下方向へ変位する傾向あり。